

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市高津スポーツセンター	評価対象年度	令和7年度
事業者名	・事業者名 特定非営利活動法人 高津総合型スポーツクラブSELF ・代表者名 理事長 菊地 正 ・住 所 川崎市高津区二子5丁目14番31号	評価者	地域振興課長
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	所管課	高津区役所地域振興課

2. 事業実績

利用実績 (単位:人)	<table><tr><th>年度/月</th><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>合計</th></tr><tr><td>令和7年度</td><td>25,130</td><td>22,218</td><td>21,188</td><td>28,546</td><td>26,787</td><td>26,137</td><td>23,212</td><td>25,791</td><td>20,326</td><td>20,709</td><td>21,863</td><td>27,350</td><td>289,257</td></tr></table>														年度/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	令和7年度	25,130	22,218	21,188	28,546	26,787	26,137	23,212	25,791	20,326	20,709	21,863	27,350	289,257								
	年度/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																				
令和7年度	25,130	22,218	21,188	28,546	26,787	26,137	23,212	25,791	20,326	20,709	21,863	27,350	289,257																																					
収支実績 (単位:円)	<table><tr><td rowspan="5">収 入</td><td>指 定 管 理 料</td><td>45,060,000</td><td rowspan="5">支 出</td><td>人 件 費</td><td>55,203,010</td></tr><tr><td>利用料金収入</td><td>34,347,010</td><td>事業関係経費</td><td>30,194,042</td></tr><tr><td>駐車場収入</td><td>7,591,600</td><td>管理運営経費</td><td>53,077,706</td></tr><tr><td>補填金収入</td><td>4,019,264</td><td>管 理 費</td><td>8,000,000</td></tr><tr><td>事業収入他</td><td>57,269,561</td><td>そ の 他 支 出</td><td>110,484</td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td>148,287,435</td><td colspan="2">合 計</td><td>146,585,242</td></tr><tr><td colspan="4"></td><td colspan="2">収支差額</td><td colspan="2">1,702,193</td></tr></table>														収 入	指 定 管 理 料	45,060,000	支 出	人 件 費	55,203,010	利用料金収入	34,347,010	事業関係経費	30,194,042	駐車場収入	7,591,600	管理運営経費	53,077,706	補填金収入	4,019,264	管 理 費	8,000,000	事業収入他	57,269,561	そ の 他 支 出	110,484	合 計		148,287,435	合 計		146,585,242					収支差額		1,702,193	
	収 入	指 定 管 理 料	45,060,000	支 出	人 件 費	55,203,010																																												
利用料金収入		34,347,010	事業関係経費		30,194,042																																													
駐車場収入		7,591,600	管理運営経費		53,077,706																																													
補填金収入		4,019,264	管 理 費		8,000,000																																													
事業収入他		57,269,561	そ の 他 支 出		110,484																																													
合 計		148,287,435	合 計		146,585,242																																													
				収支差額		1,702,193																																												
サービス向上の取組	・高津区二子エリアに合宿所を構える「國學院大學陸上競技部」や地元有志と連携し、日々の練習風景などの写真展を開催したほか、七夕飾りやハロウィン、クリスマスツリー及びプラレールの展示など、四季折々の館内装飾を継続して実施した。併せて、SNSを利用した広報も行うなど利用者の増加に向けた取り組みを積極的に行うことで、利用者は昨年度に比べ約5%（1.4万人）増加したほか、地域住民が見学に訪れることで、利用者だけでなく、地域の交流拠点としての役割を果たした。 ・障害を持つ方や高齢者が参加しやすいよう、卓球、バドミントン、健康体操などの種目やバラスポーツデーを実施している。また、「放課後デイサービス事業所」等と協力を行い広報を行うことで、利用者の増加に繋がった。 ・ホームページのほかSNS(XやInstagram)を積極的に活用した広報を行っている。館内や教室の様子を公開することにより、安心して利用できる環境を発信している。 ・年に一度の防火訓練のほか、スタッフが普通救命講習を受講するなど、館内での不測の事態に備えた対応を行っている。																																																	

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者満足度調査を適切に実施しているか	6	4 (×0.8)	4.8
		利用者満足度は向上しているか			
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
	事業成果	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	6	3 (×0.6)	3.6
		当初の事業目的を達成することができたか			
	(評価の理由) 【利用者満足度】 ・事業計画に基づきアンケート用紙とWeb回答を併用し、年2回の利用者満足度調査を実施した。これまで回答の少なかった団体利用者やスポーツデー参加者へ積極的に回答を依頼することにより、例年100件前後の回答数を、令和7年度後期は約150件と回答数を大幅に上昇させるなど、多くの意見を聴取した。 ・年2回の利用者満足度調査では、各項目とも概ね90%程度が「大満足又は満足」と回答しており、引き続き高い満足度を維持しているほか、「職員が礼儀正しく気持ちよく利用できる」、「入口エントランスの装飾が素敵」、「高津区に住んで良かった」など、これまで取り組んできた内容を評価される意見も目立った。 【事業成果】 ・各種教室など計画通りに実施するほか、イベントの開催も積極的に実施している。その結果もあり、コロナ禍以降、順調に来館者数が回復しており、年間の来館者数としては前年度と比較し、約5%（1.4万人）の増となった。				
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	6	3 (×0.6)	3.6
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	6	4 (×0.8)	4.8
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	4	4 (×0.8)	3.2
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
(評価の理由) 【効率的・効果的な支出】 ・教室事業において、各期ごとに採算を分析し講師謝礼の見直し縮減を行うなど、効率的な支出に努めた。 【収入の確保】 ・利用者満足度調査の結果を参考に、講師とスタッフが協議を行うなど、利用者のニーズを正確に把握し、新しい教室を開催するなど利用者の増加に努めた。 ・各種イベントを積極的に実施するほか、利用者が気軽に立ち寄れるようシューズやラケットなどのレンタルサービスや貸しロッカーを充実させるなど、利用者の増加とレンタル品収入の増加を両立させた。 【適切な金銭管理・会計手続】 ・教室受講料の振込制度やキャッシュレス決済を継続実施し、年間を通して適正に会計手続を行っていた。特に、キャッシュレス決済については、利用額として前年度比約1千万円程度増加するなど、適切な金銭管理(事務処理誤りの防止)のみならず、利用者の利便性向上につながっている。					

サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供(施設の利用提供)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	4 (×0.8)	4.8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切なサービスの提供(トレーニング室を含む個人開放事業)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	4 (×0.8)	4.8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切なサービスの提供(教室事業)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	4 (×0.8)	4.8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切なサービスの提供(地域との連携、提案事業等)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	4 (×0.8)	4.8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
業務改善によるサービス向上	実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	8	3 (×0.6)	4.8	
	業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか				
	業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか				
利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	8	4 (×0.8)	6.4	
	意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)				
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
(評価の理由) 【施設の利用提供】 ・高津区二子エリアに合宿所を構える「國學院大學陸上競技部」や地元有志と連携し、日々の練習風景などの写真展を開催し、SNSを利用した広報も行うなど利用者の増加に向けた取り組みを積極的行うことで、利用者は昨年度に比べ約5%(1.4万人)増加したほか、地域住民と地域で活動するチームの交流拠点としての役割を果たした。 ・各種イベントの開催により、普段は施設を利用しない方を含めた多様な世代が利用する機会を創出し、継続的な施設利用に繋がった。 ・毎年継続している季節に合わせた館内装飾は、令和7年度も引き続き好評であり、近隣の保育園児をはじめ近隣住民が来館し交友を深めた。 【トレーニング室を含む個人開放事業】、 ・スポーツデーにおいては、スタッフが利用者とともに準備や片付けを一緒に行うことにより、良好で活発なコミュニケーションが図られ、施設の問題点や利用器具の軽微な破損箇所を把握し、施設として迅速な対応に繋がった。 ・トレーニング室において、利用者のニーズに対応し、「怪我予防」「疲労回復」を目的としたメニューを強化するなど、利用者目線での運営を行った。 【教室事業】 ・定期・スポット教室94教室とワンデー教室16教室を実施した。ピクセルボール教室や卓球教室は、募集後即満員になるほどの人気だったため、クラスを増設し、利用者のニーズに応えた。 ・これまで蓄積したノウハウを活かした多種多様な教室事業を実施するほか、定期教室の無料体験を実施するなど新規利用者の獲得に努め、年間教室収入は令和6年度比約16%(700万円)増となった。 【地域との連携、提案事業等】 ・近隣の店舗を紹介する「スポセンマップ」を作成し、各店舗と相互に広報を行うなど地域連携の強化及び相互の集客促進につなげた。 ・川崎市の指定管理施設である「高津市民館」と連携した骨盤姿勢改善教室を実施し、地域その他施設と連携した事業を展開した。 ・近隣小学校の「まちたんけん」に年2回協力しているほか、市内他区を含めた中学校(7校)の職業体験、大学生のインターンシップも受け入れるなど、地域に開かれた施設としての役割を十分に果たしている。 【業務改善によるサービス向上】 ・従来の紙媒体による広報のほか、市政だよりやSNS(X・Instagram)を利用した広報を行っている。紙媒体での広報では、写真や動画のQRコードを掲載することにより、教室の利用など具体的なイメージができるよう工夫を行った。 【利用者の意見・要望への対応】 ・利用者満足度調査などで寄せられた意見・要望に対し迅速、誠実に対応した結果、大きなトラブルもなく、円滑な利用に繋がった。また、利用者満足度調査のほか、利用者との日々のコミュニケーションから施設に対する意見・要望等を聞き取り、物品の追加購入や設備の修繕を迅速に行った。					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	8	3 (×0.6)	4.8
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	8	4 (×0.8)	6.4
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)			
		緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか			
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	4	3 (×0.6)	2.4
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか			
	環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか			
	市内中小企業の活用	指定管理者の選定時に、業務の一部委託において市内中小企業者を再委託者として選定することを理由に加点した場合、実際の運営において市内中小企業者を選定しているか			
(評価の理由) 【適正な人員配置、連絡・連携体制、再委託管理、担当者のスキルアップ】 ・利用者が快適に施設を利用できるよう、今年度も2交代制のシフトを組み、交代時に引き継ぎを行う体制を確保するなど、適正な人員配置がなされていたほか、利用者が不安を感じることがないよう常に明るく元気で親切な対応を行っていた。 ・市及び区主催の各種研修や、川崎市総合型スポーツクラブネットワーク主催の広報研修を受講しスタッフのスキルアップを図ったほか、トレーニング室担当が防火管理者講習を受講したことにより、防火管理者を2名体制とするなど、スタッフの体制強化を図った。 【安全・安心への取組】 ・高津消防署職員を招いた防火訓練を実施したほか、スタッフが普通救命講習を受講し、館内での不測の事態に備えた。また、各種教室や個人利用者には、準備・整理運動を取り入れてもらい、ケガの防止に努めた。 【コンプライアンス、職員の労働条件、環境負荷の軽減、市内中小企業の活用】 ・スタッフによるコンプライアンス研修を実施し、課題の抽出や対応基準の統一を図ったほか、従業員満足度調査を実施し、職場環境の改善を図った。 ・地元中学校PTAと連携した「廃品回収station」を継続して実施しており、地域のリサイクル拠点としての役割を果たした。					

適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	6	4 (×0.8)	4.8
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか	6	3 (×0.6)	3.6
	外構・植栽管理	外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
	(評価の理由)				
	【施設・設備の保守管理、管理記録の整備・保管、清掃業務】 ・施設・設備の管理を適切に実施しており、予定された工事を計画的に実施するだけでなく、急遽発生した工事においても行政と連携し迅速に対応した。 ・スタッフによる施設点検を1日3回行い、清掃以外にもゴミ拾い等を行うことにより館内を清潔に保つとともに、老朽化した箇所や修繕が必要な箇所をいち早く発見し対応するよう努め、利用者が快適に利用できる空間づくりを図った。 【警備業務、外構・植栽管理、備品管理】 ・スタッフによる1日3回の巡回のほか、館内の防犯カメラを増設し、いたずらや盗難などの未然防止の取組を強化した。 ・エントランスの植栽が常に良好な状態で維持され、施設のシンボルツリーとして利用者から認知されているほか、館外の特徴のある樹木への看板設置や緑のカーテンづくりに継続して取り組むなど、居心地の良い空間づくりを進め、利用者や近隣住民からも高い評価を受けている。				

4. その他加点

分類	項目	着眼点			評価点
その他加点	市の政策課題への取組	かわさきパラムーブメントに関する取組の推進及び市(区)政の課題解決に向けた取組の推進			3.0
	【かわさきパラムーブメントに関する取組】 ・パラスポーツデーの開催においては、近隣障害者施設と連携し、利用種目を増やす取り組みを行った結果、昨年度比で2倍以上の参加者があった。 ・区が主催する「スポーツインクルージョン縁日」にスタッフを派遣し、区のパラムーブメント推進に協力した。 ・ゴーヤを利用した緑のカーテンのほか、給水スポットの設置によるマイボトルの利用を促進するなど、市(区)が進める脱炭素への取り組みを推進した。				

5. 総合評価

評価点合計	75.4	評価ランク	B
-------	------	-------	---

※評価ランクの適用基準

評価ランク	適用基準（評価点合計）
A	総合評価の結果、特に優れていると認められる。（80点以上）
B	総合評価の結果、優れていると認められる。（70点以上80点未満）
C	総合評価の結果、適正であると認められる。（60点以上70点未満） ※標準点
D	総合評価の結果、改善が必要であると認められる。（50点以上60点未満）
E	総合評価の結果、問題があり適切な措置を講じる必要がある。（50点未満）

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

高津スポーツセンターは、平成9年度に開館し、平成18年度から指定管理者制度を導入し、令和7年度は第4期指定管理期間の5年目(最終年)となる。 「高津総合型スポーツクラブSELF」単独での管理運営となり5年目であるが、各種事業の実施に当たり、利用者ニーズの把握を的確に行い、教室プログラムの改善や障害者スポーツの普及、地域に根ざしたイベントの開催など、これまでの3期15年間の管理運営により培った経験を活かし、利用者へのサービス向上に多角的に取り組んでいる点は評価できる。 また、指定管理者自身が総合型地域スポーツクラブである特性を活かし、地域団体等と連携した各種取組を積極的に展開しており、地域から愛着を持たれる生涯スポーツの拠点としての役割を果たしていると言えるほか、利用者のニーズに応えた定期教室の運営や、近隣障害者施設と連携したパラスポーツデーの実施など、SDGsやパラムーブメントを意識した利用者目線に立った気配りがされ、地域から愛着を持たれる生涯スポーツの拠点づくりに取り組み、公の施設としての役割を十分に果たしている。

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・今後も多様なニーズに対応するための事業を積極的に展開するとともに、必要に応じてアンケート調査の手法等について検討を行うこと。あわせて、利用者数の増加や稼働率、教室充足率の向上、利用料収入の確保という点を意識するとともに、近年の物価高騰を考慮し、節電を含めた各種費用の縮減に取り組み、効率性かつ効果的な財務状況の適正化に取り組んでいくこと。 ・施設の長寿命化に向けた工事や、軽易な補修工事など、関係課との調整を行い計画的に執行するとともに、利用者への案内や教室の運営などできる限り利用者に影響のないよう適切に行うこと。 ・物販やレンタル用品など、近年の物価高騰を考慮した適切な価格転嫁を行うこと。 ・パラスポーツデーの開催において、利用者が増えたことによる利用者同士の接触などの懸念に対し、施設との連携を一層強化するなど、利用者の安全に配慮した対応を適切に行うこと。 ・第5期指定期間となったことに伴い、条例や仕様書、協定書などを再度確認し、適正な業務遂行に努めること。 ・引き続き、市の施策である「かわさきパラムーブメント」の推進に積極的に取り組むこと。
